

- 問1 11世紀前半に、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築いた人物は誰ですか。
- 問2 大和朝廷は、どのような人々が連合してつくった、強大な力をもつ国ですか。
- 問3 聖徳太子たちが、中国の進んだ文化や学問、政治のしくみを取り入れるために、小野妹子らを送った使節を何といいますか。
- 問4 日本に旧石器時代があったことを示すきっかけとなった、群馬県にある遺跡の名前は何かですか。
- 問5 縄のようなもようがあり、食べ物を煮たり、たくわえたりするために使われた、縄文時代の道具は何ですか。
- 問6 磨製石器が使われるようになったのは、日本の歴史のどの時代ですか。
- 問7 藤原氏が栄えたころに、都の貴族を中心に生まれた、優美ではなやかな日本風の文化を何といいますか。
- 問8 自分の土地や財産を守るために、集団で武装するようになった豪族や有力な農民などから始まった人々を何と呼びますか。
- 問9 645年に中大兄皇子や中臣鎌足らが蘇我氏をたおし、天皇を中心とする国づくりを始めた政治の改革を何といいますか。
- 問10 奈良時代の人々が、荷物などのメモ書きに紙ではなく「木」を使っていた主な理由は何だと考えられますか。
- 問11 平安時代に、貴族が住んだ大きなやしきの建築様式を何といいますか。
- 問12 邪馬台国の女王で、人々をひきつける不思議な力を持ち、中国の魏に使いを送って金印などを授けられたのはだれですか。
- 問13 昔の日本で、王や豪族などの有力者が、自分の大きな力や広いつながりをあらわすために作った、とても大きな墓のことを何といいますか。
- 問14 奈良時代に、聖武天皇が大切にしていた品物や、当時の貴重な宝物を守るために、東大寺の境内に建てられた特別な「倉」のことを何といいますか。
- 問15 中大兄皇子とともに蘇我氏をたおし、大化の改新を始めた人物はだれですか。
- 問16 十七条の憲法は、どのようなことを示すために定められたきまりですか。
- 問17 603年に定められた、家柄に関係なく、能力や功績のある人を役人にとりたてるための12段階の位のしくみを何といいますか。
- 問18 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問19 四角形と円形を組み合わせた形をした、古墳時代につくられたお墓を何といいますか。
- 問20 日本で最初の本格的な都である藤原京は、どこの国の都にならってつくられましたか。
- 問21 聖徳太子が「摂政」という役職に就いて、政治を助けた天皇は誰ですか。
- 問22 鑑真が命がけで日本に来た目的は、主に何をするためだったのでしょうか。